



成人を祝う会を行いました！



如水のビデオメッセージ



陽だまりのビデオメッセージ



式典の様子



1月20日(金)、ややま園本園では新成人を祝う会を開催しました。今年度成人を迎える方々は牟田口祐輔さん、加藤愛斗さん、長久三咲さん、I・Yさんの計4名です。本来は大幡コミュニティーセンターにて開催する予定でしたが、コロナ禍の現状、大規模な開催の実現は難しいという結論に至り、今年度もややま園本園で開催する運びとなりました。

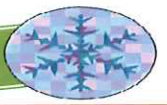
式典の第1部では前年度成人を迎えた代表者の開式の挨拶から始まり、金枝理事長から新成人4名へ記念品の贈呈、田中教子さんが全利用者を代表して激励のメッセージ、牟田口祐輔さんのピアノ演奏など、厳粛ながら良い緊張感で式が進んでいきました。

第2部では新成人4名の幼少時代から現在に至るまでを写真で振り返るスライドショーと、また残念ながら会場に来られなかったややま園如水の皆さんからのお祝いビデオメッセージ、陽だまりの子供たちによるお祝いのダンスの上映に加え、新成人4名のクイズ等々、第1部とは一転して盛大に盛り上がり、また沢山の方々からの祝福を受けての式典となりました。

4名共に普段は本園室内B型事業部に所属しており、日々の作業も一生懸命頑張っています。これからも様々な経験を重ね、少しずつ成長していく姿を職員一同楽しみにしています。



クリスマス会



陽だまり

12月14日(水)、児童発達支援の子どもたち6名を対象にクリスマス会を開催しました。『赤鼻のトナカイ』と『ジングルベル』の曲に合わせて振付けをしながら歌を歌い、『ツバメ』の曲に合わせて職員考えた振付けを子ども達と一緒に踊りました。パネルシアターでは『げんこつ山のためきさん』と『森のクリスマス』を披露し、子ども達も参加してとても楽しそうでした。最後に金枝理事長サンタクロースから子どもたちへプレゼントがあり、サンタクロースの登場とプレゼントにととても喜んでいました。



如水B型事業部

12月17日(土)、感染対策を行ったうえで、クリスマス会を実施しました。今回は利用者の皆さんが衣装を行うことでひとりひとりにスポットがあたり、これまでとは違ったクリスマス会になりました。プレゼントボックスを使った「早積み競争」や「リレー」、「トントン紙相撲」など様々な種目で盛り上がりました。昼食は「そらいろキッチン」の豪華なクリスマス弁当を食べました。その他に、利用者が自らデコレーションを行ったプチロールケーキを食べたり、ビンゴゲームで当たった方からプレゼントを選んだり、時間を忘れて楽しく過ごしました。



本園(室内B型、生活介護、メンテナンス、販売)

12月23日(金)、4事業部合同でクリスマス会を開催しました。当日は積雪のため、規模を縮小しての開催でしたが、ビンゴゲーム、スライドショーなど室内で楽しみました。お昼はキッチンカー(SUN3)に来ていただき、事前に注文した商品を購入し食べました。ローストビーフ丼やローストビーフバーガーなどボリュームがあってとてもおいしかったです。利用者さん方の「楽しかった」や「おいしかった」等の喜びの声がたくさん聞けて良かったです。



新利用者紹介

NEW

かわきた はるゆき
河北 玄如さん



所属：メンテナンス事業部
一言：作業を覚えて頑張ります

なかの さとみ
中野 里美さん



所属：如水B型事業部
一言：一生懸命頑張ります

おくじょう しんじろう
奥城 伸二郎さん



所属：如水B型事業部
一言：如水で頑張ります

舗装工事 送迎車納車

送迎車・作業車として使用していたハイエースが老朽化のため新たに一台納車しました。大切に使用していきたいと思えます。また、本園敷地出入り口の塗装が劣化していたため、舗装工事を行いました。



あけましておめでとうございます



初詣



新年が明け、今年もややま園では各事業部ごとで薦神社へ参拝に行きました。境内に入ると焚き火があり、一目散に焚き火の側に寄って暖を取る方や、中にはおみくじで『大吉』を引き、嬉しそうにしている方もいました。正月休み中、利用者の皆さんそれぞれ怪我や病気にならず新年を迎えられたことに安堵しつつ参拝を行いました。そして今や利用者の皆さんもコロナ禍での生活に順応しましたが、やはり行事がほぼできなくなった現状に寂しさも感じている様子です。参拝中も「今年こそコロナが収まって行事ができるといいね」と言う声がたくさん聞かれました。

職員も同様に、一刻も早いコロナの収束、そして利用者の皆さん一人ひとりが健康で素晴らしい一年となるよう願いました。



障がい者アート作品展作り 陽だまり・本園・如水



陽だまりでは、ややま園本園の牟田口祐輔さんと一緒にアート作品作りを行いました。陽だまりに通う児童にアートの世界を体験してもらいたいといった職員の想いもあり、今回実現することができました。児童の描き方や色づかいを通して、たくさんの個性を見ることもできました。作品は四季を表現した色を使いそれぞれ2枚ずつ牟田口さんに描いてもらい、その上に児童の指や腕でスタンプして、季節ごとの風情をイメージした作品に仕上がる事ができました。今回のような事業所間の交流を今後も続けていきたいと思えます。

本園では土曜日レクリエーションとして、おおいた障がい者芸術文化センターの方を招いてオープンアトリエ(アウトリーチ)を行いました。石膏シートを切り、水に濡らして風船に貼り、乾いたら色を塗っていき、一人ひとりの個性が出て、楽しく取り組むことができました。如水ではペットボトルキャップで作った中津城の壁画を障がい者アート作品展に出展しました。ペットボトルの色の配色や使い分けに苦労しましたが、みんなで協力して達成感のある作品を作ることができました。

完成した作品は「障害者アート作品展(中津市立小幡記念図書館)」2月9日(木)～2月19日(日)の期間に出展しました。



全国障がい者技能競技大会 (全国アビリンピック)

11月4日から11月6日までの3日間、千葉県の幕張メッセで全国アビリンピックが開催されました。アビリンピックのテーマとして「We Are The Star ～我々を見よ～」を掲げ、27種目の競技が行われました。ビルクリーニング競技の大大分県代表として高嶋東美さんが参加しました。入賞には届きませんでしたが、練習の成果を十二分に発揮してくれました。



あすびあおおいた フライングディスク大会

12月10日にあすびあおおいたフライングディスク大会が身体障がい者福祉センターで行われました。今大会はディスリート5(5m)、ディスリート7(7m)で各10枚ずつ20枚投げ、合計枚数で競いました。全参加人数45名中、伊井春市さんが全体の1位、山本和夫さんが4位、河野恒年さんが5位で表彰されました。



ほけんだより



◇新型コロナウイルス感染症について◇

県内では、新型コロナウイルス感染者数が依然として多く身近に感染者がいてもおかしくない状態が続いています。今まで以上に、御家庭での健康観察の徹底をお願いします。御家族に一人でも具合の悪い方がいる場合は休むことをご検討ください。

重症化リスクが低く、届出対象者外と診断された方は軽症であっても療養中の体調悪化時に受診や入院調整などがスムーズに受けられるよう、健康フォローアップセンターへの登録をお勧めします。

◇季節性インフルエンザ◇

インフルエンザが『流行期』に入りました。症状としては突然の発熱、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状、咽頭痛や咳などの呼吸器症状、通常では発熱が2～3日持続した後、1週間程度で回復しますが、時には重症になることもあります。予防としては手洗いやこめまなうがいを心がけ、十分な栄養とバランスのとれた食事を心がけましょう。また、乾燥しやすい室内では加湿器などを使って適切な湿度(50～60%)を保つことも効果があります。

新型コロナウイルス感染症と インフルエンザの同時流行への備え

○発熱外来を速やかに受診できない場合に備えて、自宅療養に必要な解熱鎮痛剤をあらかじめ購入しておきましょう。

○予防接種がまだの方は、今からでもご検討下さい。

(新型コロナウイルス感染症予防接種、季節性インフルエンザ予防接種)

